

谷川連峰の前衛にして不遇なチョイワル沢

小出俣川 センノ沢

日 程 2016年6月27日（月） 前夜発日帰り

メンバ－ 斎藤（記録）、上小牧

行動時間 川古温泉手前駐車場 5：45→松木ド沢入渓点7：05→センノ沢出合8：05→
チムニ一滝10：10→1621mコル13：00→イラクボ沢出合・林道15：45→
駐車場17：15

天 気 晴れ時々曇り

行動記録

小出俣山は谷川連峰の前衛にありヤブに守られた地味で不遇な山かもしれない。平日でしかもちょっとマニアックな沢を上小牧さんは快くOKをしてくれた。

前夜発の計画で20時に壬生集合としたが、上小牧さんより「もうちょっと早くてもいいよ」と言われたが家庭の事情及び私と上小牧さんが早く現地に着いてしまうと飲みすぎてしまう危険性から予定通りの出発となつた。さらに上小牧さんは酒を冷やすクーラーボックスまで用意してきてくれて本当に素晴らしい先輩だ！

川古温泉の手前の駐車スペースにテントを張って居酒屋おいずまたの完成である。二人の前に酒が並べば飲みすぎるという当初の心配は全く意味をなさない。おかげで旨い酒を飲みながらとても健全な話（笑）をしながら今回も日付を越えてしまった・・・。

翌朝梅雨時期にしては素晴らしい快晴だ。手前の林道からアプローチする。橋の手前で沢沿いの踏み跡に入っていくが途中から不明瞭になり適当なところを登って松木ド沢を下って入渓する。沢を歩き始めると程なくして「大ヒラナメのセン」だ。噂には聞いていたがなかなかのナメの連續でここだけなら間違いないデート沢の様相。でもここから先はかなりデンジャラスなデートが待ち受けていた。

手始めに8mの滝は朝一もありロープを出すがちょっと嫌らしい。滝を越えると次第に両側がゴルジュの様相になり「ヤバイ」雰囲気になる。そのヤバさは人間の本能で分かるのか、その先には3段100mの大滝が生き物を寄せ付けない勢いで天高く降り注いでいる。ちょうどセンノ沢とマチホド沢の出合になる。

今回はセンノ沢に入るが出合からこちらもちょっとやらしい巻きで取付く。こんなのは序章に過ぎない。実はここからが核心なのだ。次の20m滝はパッと見右側を行けそうじゃんって感じ。ここは上小牧さんに志願して「リードで逝きます！」。出だしは右のルンゼっぽいところから取付くがなかなかいやらしい。怪しげなムーブで乗越しあとは泥壁の4級フェースだ。ところどころウルイが生えていて、もうデカくなっていてこりや食えないな～と思いながら、さらにウルイもホールドにさせてもらった。ウルイに命預けたので今度からは感謝して食べなくてはいけない。いい感じでランナウトしながらの登攀となった。上小牧さんをビレーであげたら、「出だしのスタンス飛ばしてたよ」とのこと。なんか難しいと思ったし、上小牧さんが出だしスイスイ登て来ると思ったのはそのためだったのかと納得。さすが上小牧さんである！！

次の30m滝は上小牧さんにトップを代わってもらう。上部で水流シャワーもあるようだがここは上小牧さん

のドンピシャ高巻きでうまく落ち口に抜けることができた。続く20mチムニー滝も上小牧さんにリードをお願いする。ここは滝の右側がリッジになっておりそのバンドとフェースをうまくつないで抜ける。上部のフェースが細かくてやらしい。灌木でうまくランニングを取りながらのルート取りはさすがだ！

落ち口に抜けると5mチョックストーン滝になる。自分が「巻きですかね～」と言ったのを聞かぬか聞いたか、上小牧さんはチョックストーンの水流に突っ込んでいく。水流と格闘しながらうまく抜けていく。それまでの自分を恥じながら上小牧さんの後を続く。さすがハードロッカー上小牧さんである！！

そしてこの沢のフィナーレ、40mの傾斜のあるナメ状の滝である。今までのいやらしい巻きや登攀を癒してくれるかのように自由にルートの取れるデザートのような滝だ。部分的にヌメるが高度感が楽しい。しかし部分的にやらしく上部で上小牧さんにロープを出す。確かに一步間違えば滝の下まですっ飛んでしまう。不安を感じたらロープを出すところだ。

そのあとも15mクラスの滝とナメが出てくるが特に問題なく進む。いよいよ水枯れとなり本流と思うところを適当に詰めていくとちょっとのヤブこぎで1621mのコルよりも50m位上部の藪尾根に出た。この尾根も全く踏み跡がなく小出俣山までは藪ファンの心を捉えて離さないだろう。ちなみに上小牧さんも藪大好きとのこと。渓嶺藪好きの会は私だけではなかった！名誉会長に上小牧さんに就任していただこうと思う。

1621mのコルから沢地形を拾いあとは沢を下るだけだ。途中ロープがほしいと思う箇所があったがうまく巻いたり強引に下ったりして、赤谷川の本流に近くなるころには沢が広がり、ひょっこりと林道に出た。

あとは惰性で林道を下り元の駐車場所に戻った。上小牧さんはザックが重い重いといっていた(60Lザック)のだが私も装備はちゃんと持ってきていたので多分素敵なものがザックに入っていたに違いない。

下山後は猿ヶ京温泉のまんてん星の湯(670円)に入る。設備はなかなかだが循環しているのかちと塩素臭がするがお湯の温度は適温だ。二人とも腹が減ったので帰路に「和風レストランしんりん」を見つけ奥利根豚のソースかつ丼とロースかつをそれぞれ食べたがなかなかうまかった。

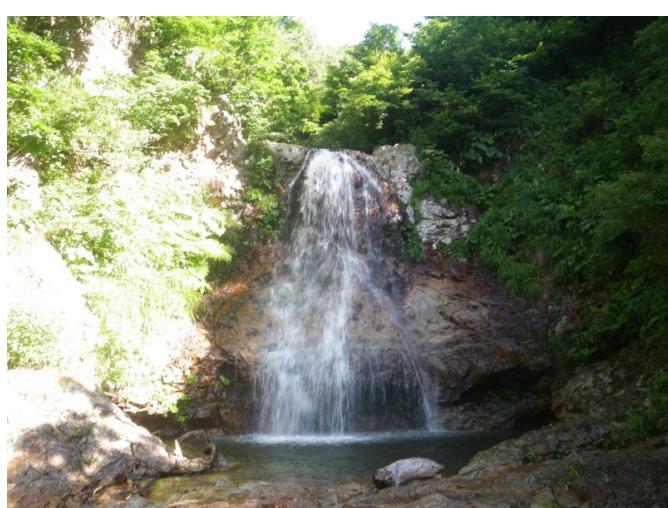
帰りの高速も上小牧さんのアダルトな話に心ときめかせ、かつ今日の沢の充実感に酔いしれながら壬生まで楽しいひと時を過ごした。

こうしてチョイワルおやじのチョイワル沢は幕を閉じたのだった。

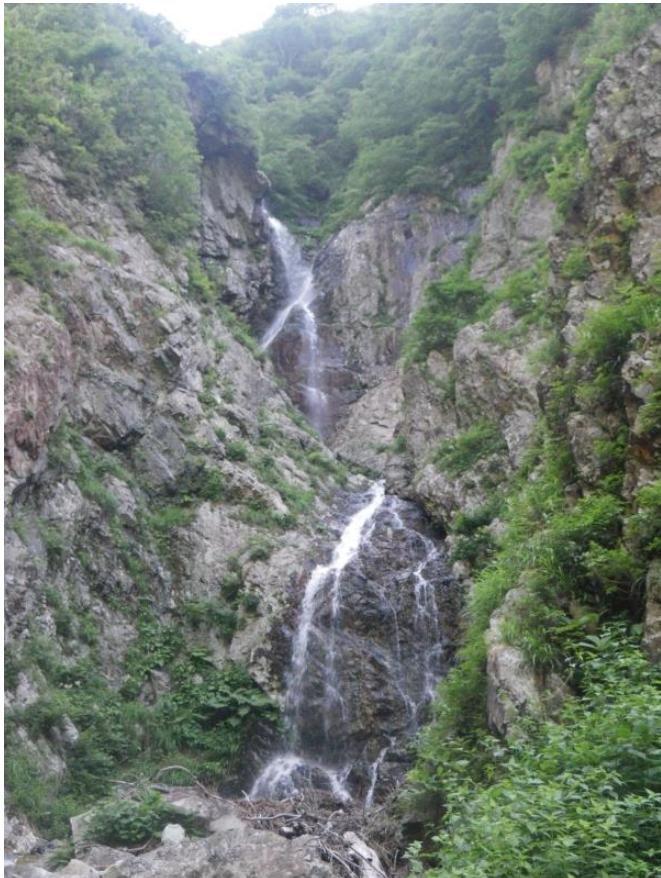
(記録：斎藤)



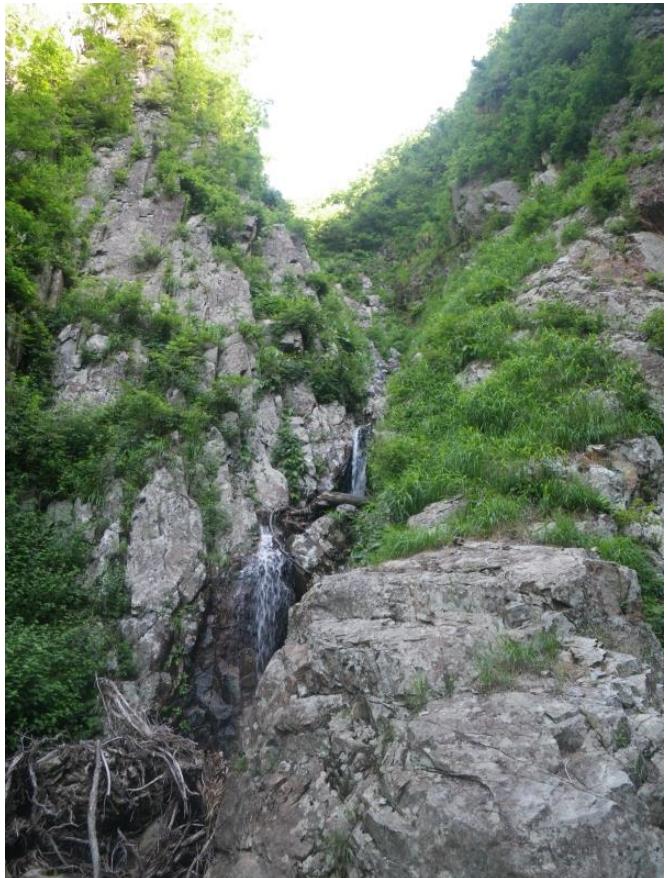
大ヒラナメのセン



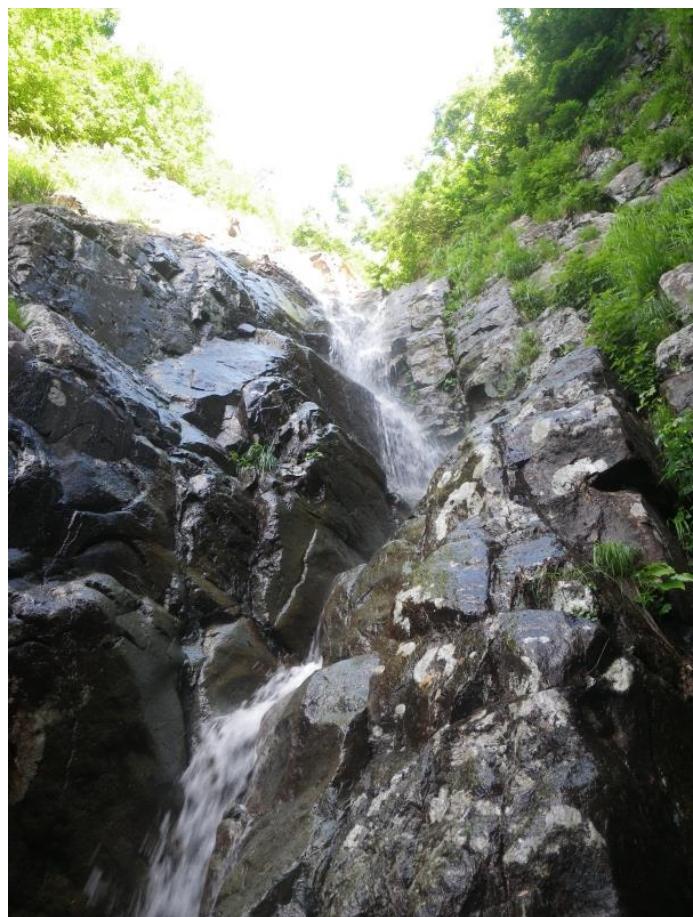
最初の8m滝



マチホド沢の100m3段



センノ沢出合の滝



20m滝 4級泥壁



30m滝



20mチムニ一滝の登攀



C S滝に突っ込む上小牧さん



40mナメ状滝



40m滝下部



ヤブこぎ大好き上小牧さん（最後の詰め）



イラクボ沢の下降